

東松山市立市民病院広報誌

2015年10月1日 発行

市民病院ニュース

Higashimatsuyama Municipal Hospital
東松山市立市民病院
〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山2392番地
TEL:0493-24-6111 FAX:0493-22-0887

News from City Hospital

第4号



市民病院完成イメージ図

～改築工事が進んでいます～

外来診察室や健診室がある「市民病院本館」は、建築後既に41年を経過しています。調査の結果、耐震性が不足していることが判明したため、病院建物としての耐震性の確保を主な目的として、現在、改築工事を進めています。

Contents

本館改築工事が進んでいます	P2
改革プランの3年間の成果報告	P3
看護部のご紹介	P6
病院だより(ワンポイント“出前”クリニック、七夕コンサート、講演会のお知らせ)	P7
外来担当医表・特殊専門外来	P8

<http://hmy-municipalhosp.jp/>

本館改築工事が進んでいます!

市民病院の歴史は、昭和32年に開設された国保診療所に始まります。昭和42年に市民病院となり、その後、昭和49年に現在の本館を建設し、さらに昭和62年には新館を増築し、今のような形となりました。

現在、外来の診療や健診・人間ドックでご利用をいただいている本館は建築後40年近くを経過し、老朽化が進んでいるため、調査をおこなったところ、耐震基準を一部満たしていないことがわかりました。

そのため、平成26年度から平成28年度までの3か年をかけて、本館を新たに建て直すことにし、現在工事を進めています。



工事の概要

建物の構造等:鉄骨造 地上3階建

建築面積:1062.63㎡

延床面積:2999.98㎡

工事の目標:施設の耐震化

健診機能向上

院内外来フロアのアメニティの向上

新本館の診察室等の配置予定

1階:内科、皮膚科、外科、整形外科、脳神経外科、救急室 等

2階:小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、健診室 等

3階:会議室、事務室 等

▶2階の健診室内に専用の放射線関係の機器が設置されますので、採血や心電図などの新館の検査部門と合わせ、2階部分のみの移動で、人間ドックなどをご利用いただけるようになります。

▶平成28年5月頃から新しい建物での診察を始める予定です。その後、本館を取り壊し、駐車場を整備します。

建て替えに伴い、診察室の場所が一部変わっています。移動の際にはご不便をおかけしています。

- ▶外来診察室へ行くには、放射線科の前の通路を進み、突き当りを左へ折れてお進みください。
- ▶健診室と小児科診察室は本館3階に移動しました。外来待合室の手前にある本館エレベーター又は階段で3階までお願いします。
- ▶健診室から検査科へ移動する際は、お手数ですが一度1階へ降りていただき、改めて新館のエレベーター又は階段で2階へお願いします。

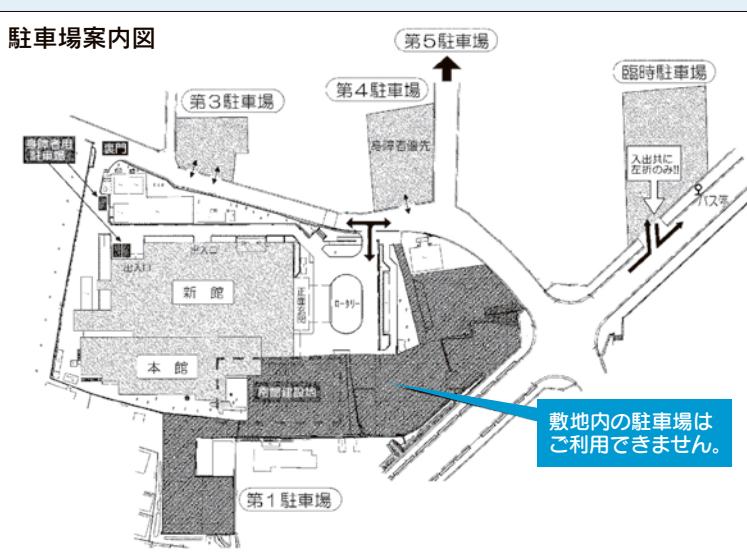
駐車場のご利用について

▶工事期間中は皆様の安全の確保の観点から病院敷地内の駐車場は利用できなくなっています。

病院と道路を挟んで北側にある市民病院駐車場、又は市民病院(入口)交差点の東側にある「市民病院東」バス停北側の臨時駐車場をご利用ください。

なお、送迎のための正面玄関前での乗り降りは、今まで通りご利用いただけます。

▶身障者用の駐車場につきましては、病院の裏門から入ったところに3台分をご用意いたしました。ご利用の際には、職員が対応をいたしますのでお手数でも病院代表電話(0493-24-6111)まで予めご連絡をお願いいたします。



完成までしばらくご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。

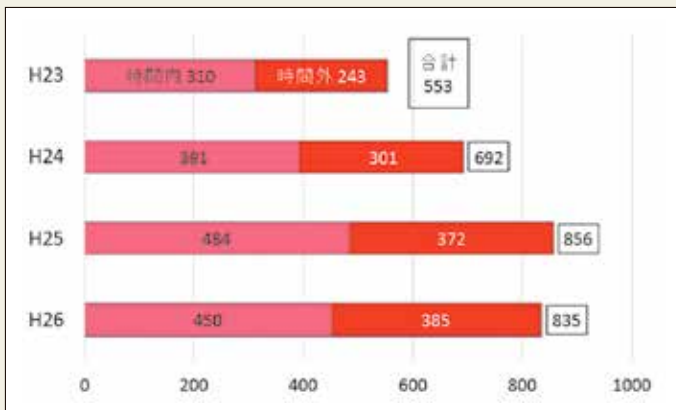
改革プランの3年間の 成果報告

～数多くの目標を達成することができました!～

1 救急患者の受入件数

市民意識調査の結果を見ても、市民病院に最も期待されているのは、救急医療の充実です。平成24年度からの3年間、救急を担当する比企広域消防本部の連携を図りながら積極的な受入れに努めた結果、平成25年度、平成26年度はともに800件台に達し、平成23年度に比べ、50%余り増加しました。

そうした実績を踏まえ、平成26年9月には、救急指定病院の告示を取り戻し、翌10月から比企地域の2次救急医療の輪番制に復帰することができました。



2 手術件数

平成24年度からの3年間で、外科、泌尿器科は1名が2名に、整形外科は2名から3名にそれぞれ常勤医師が増えました。

スタッフが徐々に充実した外科系の医師が意欲的に手術に取り組んだ結果、整形外科や眼科を中心に、平成25年度、平成26年度と件数は年々増加してきています。

特に高度な手術は、埼玉医科大学などをご紹介する場合がありますが、できるだけ身近な病院で安全に手術を行うことは、患者さんやご家族の負担を減らすことにもつながりますので、今後も引き続き、医師の専門性を高めるとともに、最新の医療機器の整備などに取り組んでいます。

市民病院では、平成23年度に改革プランを取りまとめ、その後平成24年度からの平成26年度までの3年間、診療内容の充実と経営の立て直しに取り組んできました。

ここでは、3年間の取り組みの成果をご報告するとともに、市民病院をはじめ超高齢化を迎えた地域医療の課題についてもお知らせします。



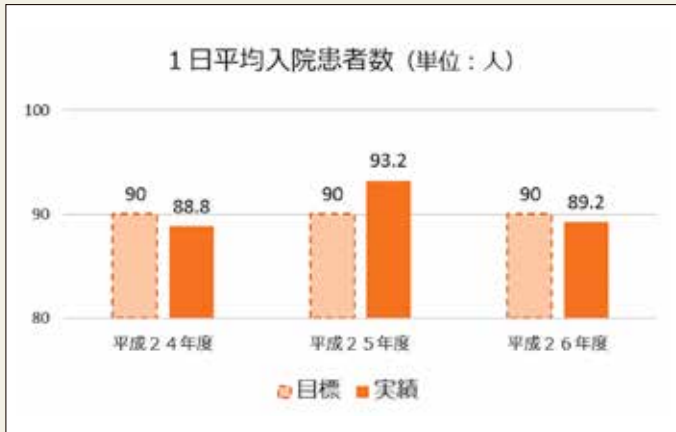
3 入院患者数

入院患者への医療提供が病院の最も大きな役割ですが、その役割には大きく分けて次の4つの区分があり、現在、市民病院は急性期病院を選択しています。

具体的には、急病や交通事故などの患者さんを身近な病院として受入れ、救命処置や手術を行い、その結果、状態が安定した場合には、回復期の病院に引き継いでいただき、逆により病状が重く、密度の濃い治療が必要な患者さんの場合には、高度急性期を担う大学病院などに対応をお願いするというのが市民病院の本来の役割です。

区 分	具 体 的 な 役 割
高度急性期	急病や交通事故などで(より病状の重い)患者の状態を早く安定させるために高度な医療を提供する病院
急性期	急病や交通事故などの患者の状態を早く安定させるために医療を提供する病院
回復期	急性期を経過し、状態の安定した患者に対し、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する病院
慢性期	長期にわたり療養が必要な患者を受け入れる病院

そうした役割を踏まえ、平成24年度からの3年間は、救急搬送患者の受入や手術に積極的に対応し、同時に地域の医療機関や福祉施設との連携を進めた結果、若干の増減はありますが、1日平均入院患者数90名という目標を概ね達成することができました。



4 外来患者数

平成24年度は外来診療を担当していた非常勤の医師を削減した影響から、1日平均の外来患者数は前年度より減少し、目標値を20人近く下回る結果となりました。しかし、その後は常勤の医師が徐々に増加し、非常勤の医師についても改めて充実を図り、内科や整形外科、泌尿器科などでの専門外来の開設なども進めた結果増加に転じ、平成26年度は目標値をほぼ達成することができました。



5 医業収益

医業収益は市民病院の収入の基本となるもので、民間企業や商店の売上に当たるものです。具体的には、入院と外来の収益のほか、健康診断や人間ドックの利用料金など

のその他医業収益の合計となります。

平成24年度からの3年間、入院患者数が目標値に近い状態で推移し、外来患者数や手術件数も年々増加し、さらには、医療スタッフの確保や医療機器の整備などを進め、診療内容の充実を図ったことから、医業収益も年々伸びています。



※平成26年度の収益、経常収支については現時点での見込み額で、今後市議会で決算の認定を受け、はじめて確定するものです。

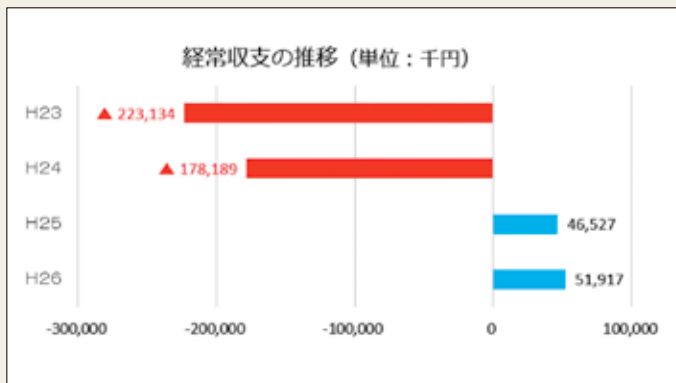
6 経常収支

平成24年度の後半から収益が伸びたことで、赤字が続いていた経常収支が平成25年度は9年ぶりに黒字に転換することができました。

平成26年度は、病院にとっては負担増(※)となる消費税の引き上げがあったにもかかわらず、収益がさらに伸びた結果、2年続けて黒字決算となりました。

しかしながら、今後国は年々増大する医療費を抑制する考えであるほか、再来年4月には消費税が10%に引き上げられるなど、病院経営を取り巻く環境はさらに厳しくなるものと見込まれますので、よりいっそうの経営努力が必要です。

※病院が購入する薬品や材料などを購入する場合、代金と一緒に消費税を支払います。通常の商売では、仕入れの際に支払った消費税は、商品の値段に上乗せして回収することができますが、患者さんにお支払いいただく医療費は消費税がかからないので、回収することができず、そのまま病院の負担になります。



7 これからの取り組み

(1) 地域医療構想と市民病院の立ち位置

これまでご説明したように、平成24年度から26年度の3年間の取り組みは多くの成果をあげることができました。

しかし、内科医の確保や時間外の救急医療の充実などをはじめ、引き続き取り組んでいかなければならない課題も少なくありません。

また、地域の医療という点から見た場合には、医師や看護師の不足が今なお解消されない中、団塊の世代が75歳以上になり、3人に1人が65歳以上になる2025年問題にどう対応していくかという、より大きな課題が目前に迫っています。

こうした中、国は今年3月「新公立病院改革ガイドライン」を発表し、市民病院をはじめとする公立病院に対して、さらなる改革を求めています。

その中では、地域医療構想を踏まえた機能の明確化という新たなテーマが掲げられました。

地域医療構想という言葉をお聞きになったことのある方も多いと思います。先ほどお示したように、病院の役割には大きく分けて4つありますが、それぞれの病院がどのような役割を担うかは、個々の病院の規模や特徴により選択されるため、地域ごとにそのバランスはまちまちです。

全国的にみた場合、高度急性期は大学病院など大規模な病院に限られますが、中小病院の多くが、診療報酬が比較的高く設定され、収益性のある急性期病院を選択している傾向にあり、回復期の病院が不足するというアンバランスな状態になっています。

医師や看護師などのスタッフが元々足りない中で、病院

同士の役割分担がなされず、それぞれが自分たちの考えや都合だけで医療を提供していたのでは、2025年問題乗り越えることはとてもできません。そこで、国が地域医療構想という新たな枠組みを設け、都道府県が中心となって、地域ごとにそれぞれの病院が将来にわたって担っていく役割を協議し、地域医療についての“構想”すなわち将来ビジョンをまとめていくことになりました。

東松山市の属する「川越・比企」の医療圏においても、今後、埼玉県が中心となって、市内の東松山医師会病院や埼玉成恵会病院など身近な病院はもとより、より高度な医療を提供する(埼玉医科)大学病院や回復期の病院などとの間で役割分担と相互の連携について話し合いを進め、構想=ビジョンを取りまとめていくことになります。

そうした議論を通じて、市民病院も自らの役割をはっきりと定め、役割に応じたスタッフの確保や設備の充実を図っていくことになります。

(2) 地域包括ケアシステム

2025年に向けて、医療だけでなく介護サービスを必要とする高齢者が急増することが予想されています。

増加する在宅高齢者を支えるためには、病院同士だけでなく、身近なかかりつけ医である医師会の先生方との間での協力が重要で、介護や生活支援の分野を担う多職種の方々とのいっそうの連携を推進し、地域全体で高齢者の暮らしと健康を支えるしくみを整えなくてはなりません。

それが地域包括ケアシステムと呼ばれるもので、東松山市でも比企医師会や比企郡市歯科医師会が中心となって、現在しくみづくりの準備を進めています。

市民病院は、普段は医療や介護を利用しながらご自宅で過ごしている高齢者が、急に具合が悪くなった際に、入院していただくバックアップを中心に役割を担っていく予定です。

「寄り添う心と支える技術」で、患者様にお世話しています。

看護部のご紹介

3A病棟

手術や内視鏡検査を受ける外科の患者さんのほか、内科の患者さんが入院します。病棟のスタッフは、患者さんのために一番良い方法は何かを医師や看護師がチームとなり、常に話し合いながら、より良い医療の提供に努めています。



5A病棟

脳神経外科の脳梗塞や脳出血の患者さん、耳鼻咽喉科や泌尿器科で治療や手術を受けられる患者さんが入院しています。脳梗塞の患者さんなどでは、リハビリにつながるような車椅子への乗車など、積極的に行っています。また、担当看護師が責任をもって対応しますので、どんなことでもお気軽にお話しください。

4A病棟

「よろしくお願ひします」「ありがとうございます」、明るい声が聞こえます。ここは整形外科、眼科、小児科、内科の4科の入院を担当する4階病棟です。スタッフの美しい笑顔が向けられるのは、患者さんやご家族にとどまりません。病院職員の皆さんや他施設の方々にも惜しみなく向けられるのですが、もったいないことに、マスクで半分隠れてしまって本当に申し訳ありません。今日も笑顔で、あなたの心を明るくしたい4階スタッフです。



引越越し風景



手術室

年々手術件数が増えている中で、チームワークで皆様にお安心・安全をお届けします。



外来

現在建て替え中で狭く動線も悪い状態ですが、患者さんに対して今まで以上に親切丁寧に笑顔で頑張ります。

◆ 病院での「ボランティア活動!!!」

病院では、外来受診の患者さんの診療科への案内や待ち時間のお話し相手、外来だけでなく入院患者さんのお話し相手や衛生材料づくり、またベッド周囲の環境整備などのボランティア活動を市民の方にご協力をいただき、行っています。また、年3回行われる市民病院音楽クラブのコンサートなどに参加いただいています。患者さんのためにより良いボランティア活動が行えるよう、定期的にボランティアの方と会議を行い、意見交換し、取り組んでいます。



院内研修(看護部ステップ別、全体研修、病院各委員会主催の研修)はもちろんのこと、院外研修、看護研究発表にも積極的に参加し、知識や技術向上に努めています。



市民病院ではママさん看護師が活躍中です。産休、育休、育児短時間勤務、部分休業などを活用し、昨年4人目を出産した看護師さんも年末には職場復帰します。子育てにもキャリアアップにも皆で協力し合う、明るく活気あふれる職場です。

病院だより

Hospital News

市民病院では、市民の皆様により親しんでいただける病院を目指して、様々なイベントをおこなっています。その一端をご紹介します。

ワンポイント“出前”クリニック(講演会)を開催しました

5月16日(土)に、平野市民活動センターにて、整形外科清水ドクターによる講演会を開催しました。1月に開催された高坂地区ハートピアまちづくり協議会主催の講演会が大好評だったため、今回は市民病院が主催しての開催です。「生涯現役、死ぬ直前まで歩くこと～そのための病院とのかかわり方～」というテーマで、約一時間の講演でした。講演終了後は先生への質問が…。人気の高さがうかがえました。市民病院では、今後も皆様のご要望等も伺いながら、このような講演会などの企画・開催を行ってまいります。



第3回七夕コンサートを開催しました



7月8日(水)に、市民病院1階エントランスホールで「七夕コンサート」を開催しました。須賀原副院長率いる市民病院音楽クラブによる合唱のほか、一昨年もゲスト出演してくださったボサノバギタリストの木村純さんの華麗な演奏、ヴォーカルデュオYu&Aの歌声も花を添え、大勢の入院患者さんたちも集まっていただきました。今年の梅雨は殆ど晴れ間のない日が続いていましたが、患者さんをはじめ病院を利用する方の安らぎと憩いのひと時をお届けできたのではないのでしょうか。次回は、12月9日(水)にクリスマスコンサートを開催する予定です。

防災訓練を行いました

8月29日(土)、今年も市の総合防災訓練に合わせて市民病院でも災害時対応訓練として、院内でトリアージ訓練を実施しました。

トリアージとは、災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、その場に現存する限られた医療スタッフや医薬品等の医療資源を最大限に活用して、可能な限り多くの患者さんの治療を行うために、傷病者の傷病の緊急性や重症度をいち早く判別して治療の優先順位を決定し、この優先順位に従って治療や搬送を行うことです。

万が一の事態に備え、市民ボランティアの皆さんにも協力していただき、参加者全員が真剣に訓練を行いました。



講演会のお知らせ

本年1月に開催し好評だった「健康長寿都市・東松山モデル講演会」。「来年も講演会を開催して欲しい!」とのたくさんの声をいただきました。その要望に応えるため、東松山医師会病院、埼玉成恵会病院、東松山市立市民病院の市内3病院の院長が一堂に会して

の講演会を行います。期日は、平成28年1月17日(日)、会場は松山市民活動センターホールを予定しています。詳細は決定次第、市ホームページ及び広報ひがしまつやま等でお知らせいたします。皆様、ご期待ください。(※この講演会の担当は市役所健康推進課です。)

寄り添う心と支える技術

市民病院の新しいキャッチフレーズです。職員の名札にこのキャッチフレーズを書いた紙が入れているので「何かな?」と思った方もいるかと思います。市民病院では、職員が日常の業務において患者さんやご家族の皆さまに接する際の心構えとして、毎年キャッチフレーズを職員から

募り定めています。一昨年は「Change 心をひとつに」、昨年は「ありがとうを大切に」でした。今年は、「寄り添う心と支える技術」に決まりました。患者さんの病気への不安な心に寄り添い、確かな技術の裏付けにより快方へ向かっていただけるよう、職員一同、心を新たに日々の業務に励んでいきたいと思っております。

外来担当医表

市民病院では、**平日の午後・土曜日の午前**も診療を行っています！

2015年10月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	朱	朱			朱	当番医
		樺 沢	内 田	小 林	樺 沢	酒 井	
		八 木	八 木	三 浦	内 田	八 木	
		松 村	山 本	山 口	松 村	松 村	
			須賀原	須賀原	大 崎	須賀原	
外科	午前	岡 田	石 塚	石 塚	岡 田	石 塚	当番医 (第2・4週のみ)
			額 額	榎 本	田 中		
整形外科	午前	清 水	清 水	竹 迫	清 水	清 水 (予約のみ)	第1:小松 第2・4:当番医 第3:清水 第5:竹迫
		小 松	山崎(第1週休診) 竹迫(第1週10:00~)	小 松	根 岸	竹 迫	
脳神経外科	午前	白 田	白 田	白 田		栗 野	当番医
	午後 (14:00~)			栗 野	栗 野	栗 野	
小児科	午前	鈴 木	鈴 木	鈴 木	森 野	鈴 木	鈴 木 (初診・急患のみ)
	午後 (14:30~)	鈴 木	鈴 木	鈴 木	森 野	鈴 木	
皮膚科	午前	休 診	須 山	緒 方	休 診	麻 生	休 診
眼科	午前	原	原	休 診	原	原	休 診
	午後	原(予約のみ)	原(予約のみ)	原(予約のみ)	原(予約のみ)	原(予約のみ)	
耳鼻咽喉科	午前	小 川	小 川	小 川	小 川	小 川	休 診
	午後 (14:00~)	沼 倉					
泌尿器科	午前	平 野	桜 井		平 野	平 野	平 野 (第2・4週のみ)
		大 川		大 川	長谷川	大 川	
	午後 (14:00~)	大 川		大 川 (第2・4週のみ)		平 野	

※午前診療の受付時間は8:30からです。

特殊専門外来

当院では通常の外来診療に加え、以下の特殊専門外来を行っています。特殊専門外来は事前の予約が必要な場合もございますので、お電話等でご確認ください。

◆ リウマチ専門外来(整形外科)

毎週月・火曜日 受付 13:00~15:00

リウマチ専用エコー(超音波診断装置)や生物化学製剤などによる診断・治療など

◆ 脊椎外来(整形外科)

毎週火曜日(第1週を除く) 受付 8:30~11:00

圧迫骨折、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、頸椎症など

◆ スポーツ外来(整形外科)

毎週木曜日 受付 8:30~11:00

テニス肘、野球肩、平泳ぎ膝、突き指、捻挫のほか、靱帯や半月板の損傷、脱臼など

◆ 膝・股関節外来(整形外科)

毎週金曜日 受付8:30~11:00

変形性膝関節症、変形性股関節症、その他の膝・股関節痛など

◆ 睡眠時無呼吸症外来(内科)

毎月第3土曜日・第4木曜日 受付 要確認

簡易終夜睡眠ポリグラフィーを使用した睡眠状態の検査・治療など

◆ 小児泌尿器・おねしょ外来(泌尿器科)

毎月第1金曜日 受付14:00~15:30

小児を対象とした停留精巣、陰嚢水腫、夜尿症、包茎など

その他、在宅酸素療法、補聴器外来などの専門外来も行っています。お気軽にお問い合わせください。